

公益社団法人 薬剤師認定制度認証機構  
令和3年度 臨時社員総会（書面による臨時社員総会）議事録

1. 日時 令和3年8月16日

2. 書面による臨時社員総会開催理由

令和3年6月4日開催の第2回理事会（ZoomによるWeb会議）において、第5号議案令和3年度定時社員総会（ZoomによるWeb会議による社員総会）を6月25日に開催する件が審議、承認され、会議が開催されたが、社員資格のない者による議事進行がなされたことが指摘され、定時社員総会は不成立となった。内閣府公益認定等委員会担当官の指示を受け、定款第14条に則り、令和3年7月21日開催の第4回書面理事会において、令和3年度臨時社員総会を8月16日に開催することが審議、承認された。その結果を受け、一般法人法第58条第1項及び定款第16条第2項に基づき、書面による臨時社員総会を行うものである。

3. 提案された議案

第1号議案 令和2年度事業報告書（案）に関する件

第2号議案 令和2年度決算報告書（案）に関する件

第3号議案 令和3年度会費の規程に関する件

第4号議案 役員の変更に関する件

4. 議案提案者の氏名

代表理事 吉田 武美

5. 社員の数

正会員である社員 30名

特別会員である社員 5名

6. 議決方法 書面による表決

7. 書面による表決出席者

（正会員 議決権行使者）30名

（公財）日本薬剤師研修センター 豊島 聡、東邦大学薬学部 石井 敏弘、

（一社）薬剤師あゆみの会 狭間 研至、慶應義塾大学薬学部 三澤 日出巳、

（一社）イオン・ハピコム人材総合研修機構 鈴木 裕章、明治薬科大学 菅野 敦之

神戸薬科大学 藤田 光治、（公社）石川県薬剤師会 藤原 秀範

新潟薬科大学 若林 広行、北海道科学大学 今田 愛也、

星薬科大学 湯本 哲郎、(一社)昭薬同窓会(平成塾)逸見 仁道、  
(一社)薬学ゼミナール生涯学習センター 木暮 喜久子、北海道医療大学  
小林 道也、埼玉県病院薬剤会生涯研修センター 大塚 潔、  
(一社)日本女性薬剤師会 近藤 芳子、日本大学薬学部 林 宏行、  
(一社)薬局共創未来人財育成機構 金木 弘之、昭和大学薬学部 田中 佐知子、  
(一社)ソーシャルユニバーシティ 谷口 美奈、  
(公社)神奈川県薬剤師会 小川 護、近畿国立病院薬剤師会 本田 富得、  
(一社)上田薬剤師会 飯島 康典、京都薬科大学 後藤 直正、  
(公社)日本薬剤師会 山本 信夫、  
NPO 法人 医薬品ライフタイムマネジメントセンター 澤田 康文、  
(一社)日本プライマリ・ケア連合学会 坂口 眞弓、  
(一社)日本在宅薬学会 狭間研至、(一社)日本病院薬剤師会 木平 健治、  
(一社)日本くすりと糖尿病学会 朝倉 俊成

(特別会員 議決権行使者) 5名

(公社)日本薬剤師会	山本 信夫
(公社)日本薬学会	佐々木 茂貴
(一社)日本医療薬学会	奥田 真弘
(一社)日本私立薬科大学協会	井上 圭三
国公立大学薬学部長会議	土屋 浩一郎

## 8. 審議概要・結果

(1) 社員総会の決議があったものとみなされた事項の内容

第1号議案 令和2年度事業報告書(案)に関する件  
別紙1のとおり

第2号議案 令和2年度決算報告書(案)に関する件  
別紙2のとおり

第3号議案 令和3年度会費の規程に関する件  
別紙3のとおり

第4号議案 役員候補者の選任に関する件  
別紙4のとおり

(2) (1)の事項を提案した者の氏名 代表理事 吉田 武美

(3) 社員総会の決議があったものとみなされた日 令和3年8月16日

(4) 議事録の作成に係る職務を行った者の氏名 代表理事 吉田 武美

上記議案を令和3年7月30日社員全員に郵送により送付し、内容確認の上、承認の可否

について意見を求めたところ、当該議案について、社員全員から同意する旨の書面（同意書）を受領し、社員総会の決議があったとみなされたので、上記の決議を明確にするため、代表理事及び監事がこれに署名、捺印する。

令和3年8月16日

代表理事 吉田 武美 \_\_\_\_\_ 印

監 事 三輪 亮寿 \_\_\_\_\_ 印

監 事 齊藤 勲 \_\_\_\_\_ 印

第1号議案

令和2年度  
事業報告書(案)

自 令和2年4月 1日

至 令和3年3月 31日

公益社団法人薬剤師認定制度認証機構

# 令和2年度事業報告書（案）

公益社団法人 薬剤師認定制度認証機構

令和2年4月1日～令和3年3月31日

## I. 事業の概要

公益社団法人薬剤師認定制度認証機構(以下本法人)は、平成22年7月1日付で、内閣総理大臣より、公益社団法人として認定を受けた。認定された公益目的は、「地域社会の健全な発展に貢献する薬剤師の、自主的学習を支援するために実施される各種の薬剤師生涯研修・認定制度の質的水準の確保」である。その目的を達成するために、

- (1) 薬剤師生涯研修・認定制度に対する基準の設定、評価チェックリスト及び指針（ガイドライン）の作成、その他評価基準及びその改善、普及に関連する事業
- (2) 薬剤師生涯研修・認定制度の実施機関からの申請に基づき、制度の内容等を評価し、基準に適合する制度を認証し公表する事業

を行っている。これらは、本法人の設立以来の一貫した事業である。

令和2年度は、本法人の定款及び令和元年度事業計画に則り、令和2年度の正会員会費規程、薬剤師生涯研修・認定制度に関連する事項等の見直しと改善、及び薬剤師生涯研修実施機関からの申請に応じた評価・認証、公表の事業を行った。また、薬剤師業務の基本はレギュラトリーサイエンスにあることを、引き続き説明している。

令和元年定時社員総会における指摘を受け、本法人の「事業及び運営について現状を評価して、将来の方針を策定し、その結果を答申することを目的」とするビジョン委員会を設置し、委員会には、外部委員の参画を得て議論を行ってきている。令和2年度も引き続き第5回及び第6回ビジョン委員会を開催し、議論が進められ、役員の選任方法、特別会員の位置づけ及び事務局体制の強化等に関する密度の濃い意見交換の成果である中間報告(2)が理事会へ提出され、承認された。本ビジョン委員会としての最終報告書の提出が期待される。

平成28年2月10日付けの中央社会保険医療協議会の答申において、かかりつけ薬剤師の備えるべき要件の一つとして「薬剤師認定制度認証機構の認証している研修認定制度等の研修認定を受けていること」が挙げられ、認定薬剤師数が大幅に増加している。その重要性に鑑み、認定制度の認証後のフォローチームを立ち上げ、研修事業を評価しつつ、個々の薬剤師の質を担保する事業の方向性が示され、事務局体制の強化に関するビジョン委員会からの答申を受けた。本法人及び本法人の認証事業により認証された生涯研修プロバイダーの果たす社会的役割は高いことから、引き続き研修事業の質の向上を目指した展開が指摘されている。

この国の少子高齢化という時代に当たり、薬剤師は地域包括ケアシステムの中で、医療チームの一員として終末期医療から終末期ケアへとシームレスに地域医療に関与していくことの重要性などの議論を進めてきている。さらに、医薬品医療機器等法(薬機法)の改正にともない、薬局は、地域連携薬局と専門医療機関連携薬局に機能分化の方向性が示され、施行されていることから、本法人は薬剤師が生涯学習を通じたジェネラリストとしての基盤に、さらに専門性能力の向上を図ることが求められており、そのための支援体制の構築の議論も進められて+いる。

本法人の設立から15年目にあたる令和元年度から進めてきた記念事業の一環である15周年記念誌発行委員会の活動の成果物としての記念誌が完成し、薬系大学・薬部や職能団体、本法人関係者各位への贈呈配布を進めている。

なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大による政府からの緊急事態宣言に伴う内閣府公益認定等委員会からの通知及び本法人の定款により、理事会及び定時社員総会など各会議は、書面又はZoomによるWeb会議を実施した。

本年度実施した主な事業は以下のとおりである。

## II. 会議関連事項

○第1回書面理事会 令和2年4月30日(木)

1件の薬剤師認定制度の認証更新を承認した。

○第2回書面理事会 令和2年5月18日(水)

1件の薬剤師認定制度の認証更新を承認した。

○第3回書面理事会(書面による理事会) 令和2年6月5日(金)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の事象により、政府から緊急事態宣言が発令されたことを受け、対面による理事会を開催することが困難となったため、一般法人法第96条及び定款第30条第2項並びに理事会規則第6条第2項に基づき、理事会を書面理事会に替えて議案の提案を行い、審議した。

第1号議案令和元年度事業報告、第2号議案 令和元年度収支決算書報告、第3号銀 令和2年度定時社員総会(書面による社員総会)の開催日時及び提出議案を承認した。

○令和2年度定時社員総会(書面による社員総会) 令和2年6月25日(木)

第1号銀 令和元年度事業報告、第2号議案令和元年度収支決算書報告、第3号議案令和2年度会費の規程を承認した。

また、令和2年度事業計画書及び収支予算書の報告を行った。加えて、第1回～第4回までのビジョン委員会の経過報告を行った。

○第4回書面理事会 令和2年6月30日(火)

1件の薬剤師認定制度の認証更新を承認した。

○第5回書面理事会 令和2年7月22日(水)

1件の薬剤師認定制度の認証更新を承認した。

○第6回書面理事会 令和2年8月20日(木)

既承認事業報告書への追加記載及び1件の薬剤師認定制度の認証更新を承認した。

○第7回書面理事会 令和2年8月30日(日)

令和2年度臨時社員総会(書面による臨時社員総会)関連について承認した、

○令和2年度臨時社員総会(書面による臨時社員総会) 令和2年8月31日(月)

既承認令和元年度事業報告書の修正を承認した。

○第8回書面理事会 令和2年12月8日(火)

2件の薬剤師認定制度の認証更新を承認した。

○第9回理事会(ZoomによるWeb会議) 令和2年12月16日(水)

令和2年度第8回書面理事会におけるP05神戸薬科大学及びE01東北大学大学院薬学研究科の認証更新の同意書における条件事項、ビジョン委員会中間報告(2)(案)への対応、代表理事及び業務執行理事(認証担当)の業務執行状況について審議した。その結果、1)P05神戸薬科大学へは、同意書指摘内容を告げることとし、E01東北大学大学院薬学研究科については、改善計画書を穂年度末まで提出を要請することとした。2)ビジョン委員会中間報告(2)を承認し、特別会員の制度、役員候補者選任方法、事務局体制強化に関して、それぞれ方向性を承認した。3)代表理事及び業務執行理事の業務執行状況は、一部文言の修正を行うこととした。

○令和2年度薬剤師認定制度委員連絡会(ZoomによるWeb会議)

令和2年12月17日(木) 13:30~15:30

認定制素因連絡会として初めてのZoomによるWeb会議であったが、多数の委員の出席があった。

報告事項等:以下の資料を事前配布した。認定制度院との年間通信記録、令和2年、令和3年の認証申請業務、認定薬剤師発給数推移図表、E01東北大学大学院薬学

研究科の認証更新における理事からの質問に対する回答、研修事業概要書（案）、「認定薬剤師制度」の活用（都薬雑誌の記事）、日本学術会議薬学委員会 薬剤師機能とキャリアパス分科会 提言「持続可能な医療を担う薬剤師の職能と生涯研鑽」（令和2年9月4日）。これらの資料を説明しながら、認証担当理事を中心に意見交換が行われた。評価・認証及び既認証制度のフォローアップのための基盤となる研修事業報告書（案）や事業評価の基準等についての認定制度委員との意見交換を行った。

○第10回理事会（ZoomによるWeb会議） 令和3年1月22日（金）

2件の薬剤師認定制度の認証更新を承認した。

○第11回理事会（ZoomによるWeb会議） 令和3年3月5日（金）

令和3年度事業計画、令和3年度収支予算、令和3年度会費の規程、特別会員制度に関する件、役員候補者の選任方法に関する件、事務局を含めた本法人の体制強化に関する件、個人会員吉田武美の退会届を承認した。

### Ⅲ. 事業関連事項

#### (1) 認証申請等に関する諸事項の検討、改善

現在32の研修プロバイダーを認証している。平成26年度から既認証プロバイダーの年度毎研修事業概要書の提出を依頼している。本年度は既認証の研修プロバイダーの研修事業の評価などフォローアップを行っていくための、評価基準の内容の検討を引き続き行っている。認定薬剤師の質的向上と質の保証を目指すべきであることが指摘されており、増員した認定制度委員連絡会等を通じた意見交換を基に、今後の対応を進めていくこととした。

薬剤師の活躍が期待される領域は、一方において地域包括ケアシステムにおける多職種連携であるとともに、他方において特定の領域に対する専門能力の向上である。改正薬機法で薬局の機能分化も進められている。今後は特定の専門領域の職能向上を目指した「特定（専門）領域認定制度」の拡充強化にも努めていく必要がある。その点も踏まえ、本法人の認証事業の公益性と信頼性を基に、薬剤師の各種生涯研修制度の認証申請手続きを容易にするために作成している「生涯研修認定制度」並びに「特定領域認定制度及び専門薬剤師認定制度」の認証申請書記載ガイドラインの見直し等を認定制度委員連絡会での議論も行っている。

本法人の認証事業内容を普及する一環として、本年度は、15周年記念誌を発行したので、薬系大学・薬学部、薬剤師関連職能団体、薬学関連学会、各種法人、本法人関係者各位等への配布を行ってきている。また、引き続きパンフレット等による広報も行っている。



## (2) 薬剤師生涯研修・認定制度の評価・認証、及び認証更新

令和2年度は、近畿国立病院薬剤師会（G22）、一般社団法人上田薬剤師会（G23）、学校法人京都薬科大学（G24）、公益社団法人日本薬剤師会（G25）及び神戸薬科大学（P05）のそれぞれ1回目の認証更新、埼玉県病院薬剤師会生涯研修センター（G15）の2回目の認証更新、並びに公益財団法人日本薬剤師研修センター（G01）、東北大学大学院薬学研究科（E01）及び東邦大学薬学部（G02）の3回目の認証更新を承認した。

現在、一般社団法人薬剤師あゆみの会（G03、3回目）の評価を進めている。

また、慶應大学薬学部（G04、3回目）へ認証更新の案内を発出し、一職能団体からの新規認証申請に関連しての資料請求等に対応した。

## IV. その他

- ・平成元年度から継続しているビジョン委員会は、本年度も第5回と第6回を開催し、意見交換が進められ、本法人の役員候補者の選定方法、特別会員制度、本法人事務局の強化に関して中間報告（2）で提案され、いずれも理事会決議が行われた。本ビジョン委員会は、最終報告書を提出することにより、委員会を解散し、新たな委員構成による委員会を構築し、意見交換を進めることとした。
- ・新型コロナウイルス感染拡大に関連して、研修プロバイダーの研修事業等は、昨年度の理事会意見交換通りに、各認定薬剤師の状況に配慮して、適切に対応することを進めた。
- ・令和3年度事業計画書及び収支予算書を内閣府公益認定等委員会に報告した。
- ・本法人の15周年記念誌を発行した。

—以上—

令和2年度  
決算報告書(案)

自 令和2年4月 1日

至 令和3年3月 31日

公益社団法人薬剤師認定制度認証機構

正味財産増減計算書(案)  
(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

公益社団法人 薬剤師認定制度認証機構

(単位:円)

科 目	令和2年度決算額	令和1年度決算額	増 減
一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			0
② 特定資産運用益			0
③ 会費収入			
1) 正会員年会費	29,214,400	20,573,000	8,641,400
2) 特別会員年会費	3,390,000	4,290,000	△ 900,000
3) 個人特別会員	100,000	100,000	0
④ 事業収益			
1) 認証申請会費	0	300,000	△ 300,000
2) 更新申請会費	1,800,000	1,600,000	200,000
3) 認証後年会費	202,800	203,200	△ 400
④ 雑収益	61,628	1,164	60,464
経常収益計	34,768,828	27,067,364	7,701,464
(2) 経常費用			
① 事業費			
1) 役員報酬支出	2,400,000	2,400,000	0
2) 給与手当支出	3,836,000	2,436,000	1,400,000
3) 福利厚生費支出	133,334	100,000	33,334
4) 通勤手当支出	523,450	456,320	67,130
5) 旅費交通費支出	10,025	1,823,921	△ 1,813,896
6) 減価償却費支出	148,483	197,977	△ 49,494
7) 会議費支出	45,540	798,716	△ 753,176
8) 諸謝金支出	3,038,777	2,660,866	377,911
9) 消耗品費支出	232,938	163,185	69,753
10) 備品費支出	314,340	0	314,340
11) 通信運搬費支出	298,603	325,426	△ 26,823
12) 印刷製本費支出	1,899,053	214,048	1,685,005
13) 水道光熱費支出	63,756	70,515	△ 6,759
14) 業務委託費支出	500,000	1,200,000	△ 700,000
15) 賃借料支出	2,328,480	2,310,840	17,640
16) 退職給付引当金支出	200,000	200,000	0
17) 雑役務費支出	154,028	0	154,028
18) 雑支出	210,454	360,209	△ 149,755
事業費計	16,337,261	15,718,023	619,238
② 管理費			
1) 役員報酬支出	1,200,000	1,200,000	0
2) 給与手当支出	804,000	804,000	0
3) 福利厚生費支出	66,666	50,000	16,666
4) 通勤手当支出	208,080	206,760	1,320
5) 旅費交通費支出	10,611	657,209	△ 647,198
6) 減価償却費支出	16,498	21,997	△ 5,499
7) 会議費支出	22,770	391,305	△ 368,535
8) 諸謝金支出	739,471	485,550	253,921
9) 消耗品費支出	126,483	65,306	61,177
10) 備品費支出	157,120	0	157,120
11) 通信運搬費支出	163,084	157,760	5,324
12) 印刷製本費支出	890,677	57,335	833,342
13) 水道光熱費支出	31,872	35,255	△ 3,383
14) 業務委託費支出	660,000	621,600	38,400
15) 負担金支出	172,000	172,000	0
16) 賃借料支出	258,720	256,760	1,960
17) 租税公課支出	0	0	0
18) 退職給付引当金支出	100,000	100,000	0
19) 雑役務費支出	77,013	0	77,013
20) 雑支出	75,656	122,817	△ 47,161
管理費計	5,780,121	5,405,654	374,467
経常費用計 ①+②	22,117,382	21,123,677	993,705
当期経常増減額	12,651,446	5,943,687	6,707,759
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	12,651,446	5,943,687	6,707,759
一般正味財産期首残高	46,264,311	40,320,624	5,943,687
一般正味財産期末残高	58,915,757	46,264,311	12,651,446
指定正味財産増減の部			
① 基本財産評価損益			0
② 受取配当金			0
③ 基本財産運用益			0
④ 一般正味財産への振替額			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
正味財産期末残高	58,915,757	46,264,311	12,651,446

正味財産増減計算書 内訳表

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

公益社団法人薬剤師認定制度認証機構  
(単位:円)

科目	公益目的事業会計 認証事業	法人会計	内部取引除去	合計
一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
② 特定資産運用益				
③ 受取会費				
正会員年会費	11,685,760	17,528,640	-	29,214,400
特別会員年会費	1,695,000	1,695,000	-	3,390,000
個人特別会員会費	50,000	50,000	-	100,000
④ 事業収益				
認証申請会費	0		-	0
更新申請会費	1,800,000		-	1,800,000
認証後年会費	202,800		-	202,800
④ 雑収益				
受取利息	2,888		-	2,888
その他の雑収入	58,740		-	58,740
経常収益計	15,495,188	19,273,640	-	34,768,828
(2) 経常費用				
事業費				
役員報酬支出	2,400,000		-	2,400,000
給与手当支出	3,836,000		-	3,836,000
福利厚生支出	133,334		-	133,334
通勤手当支出	523,450		-	523,450
旅費交通費支出	10,025		-	10,025
減価償却費支出	148,483		-	148,483
会議費支出	45,540		-	45,540
諸謝金支出	3,038,777		-	3,038,777
消耗品費支出	232,938		-	232,938
備品費支出	314,340		-	314,340
通信運搬費支出	298,603		-	298,603
印刷製本費支出	1,899,053		-	1,899,053
水道光熱費支出	63,756		-	63,756
業務委託費支出	500,000		-	500,000
賃借料支出	2,328,480		-	2,328,480
退職給付引当金支出	200,000		-	200,000
雑務費支出	154,028		-	154,028
雑支出	210,454		-	210,454
管理費				
役員報酬支出		1,200,000	-	1,200,000
給与手当支出		804,000	-	804,000
福利厚生支出		66,666	-	66,666
通勤手当支出		208,080	-	208,080
旅費交通費支出		10,011	-	10,011
減価償却費支出		16,498	-	16,498
会議費支出		22,770	-	22,770
諸謝金支出		739,471	-	739,471
消耗品費支出		126,483	-	126,483
備品費支出		157,120	-	157,120
通信運搬費支出		163,084	-	163,084
印刷製本費支出		890,677	-	890,677
水道光熱費支出		31,872	-	31,872
業務委託費支出		660,000	-	660,000
負担金支出		172,000	-	172,000
賃借料支出		258,720	-	258,720
租税公課支出		0	-	0
退職給付引当金支出		100,000	-	100,000
雑務費支出		77,013	-	77,013
雑支出		75,656	-	75,656
経常費用計	16,337,261	5,780,121	-	22,117,382
当期経常増減額	-842,073	13,493,519	-	12,651,446
2. 経常外増減の部				
1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	-	0
2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	-	0
当期経常外増減額	0	0	-	0
他会計振替額	13,493,519	-13,493,519	-	0
当期一般正味財産増減額	12,651,446	0	-	12,651,446
一般正味財産期首残高	15,995,520	30,268,791	-	46,264,311
一般正味財産期末残高	28,646,966	30,268,791	-	58,915,757
指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	-	-	-	-
指定正味財産期首残高	-	-	-	-
指定正味財産期末残高	-	-	-	-
味財産期末残高	28,646,966	30,268,791	-	58,915,757

# 令和2年度収支決算報告書(案)

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科 目	R2決算額 (A)	R2予算額 (B)	差引増減 (A)-(B)	備 考
<b>事業活動収支の部</b>				
<b>事業活動収入</b>				
1) 会費収入	32,704,400	24,163,000	8,541,400	
正会員年会費	29,214,400	20,773,000	8,441,400	29件
特別会員年会費	3,390,000	3,390,000	0	JPA JSHP PSJ JSPHCS 薬大協 国公立
個人特別会員	100,000	0	100,000	1名
2) 認証申請会費	0	900,000	△ 900,000	
3) 更新申請会費	1,800,000	1,800,000	0	9件
4) 認証後年会費	202,800	204,000	△ 1,200	1件
5) 雑収入	61,628	20,000	41,628	
預金利息収入	2,888	20,000	△ 17,112	
その他雑収入	58,740	0	58,740	予約金返却分
<b>事業活動収入計</b>	<b>34,768,828</b>	<b>27,087,000</b>	<b>7,681,828</b>	
<b>事業活動支出</b>				
<b>事業費支出</b>				
1) 役員報酬支出	2,400,000	2,400,000	0	
2) 給与手当支出	3,836,000	2,436,000	1,400,000	
3) 福利厚生費支出	133,334	201,000	△ 67,666	
4) 通勤手当支出	523,450	447,000	76,450	
5) 旅費交通費支出	10,025	1,385,000	△ 1,374,975	認定制度等委員会出席旅費
6) 減価償却費支出	148,483	0	148,483	
7) 会議費支出	45,540	243,000	△ 197,460	認定制度等委員会会場借料等
8) 諸謝金支出	3,038,777	4,319,000	△ 1,280,223	認定制度等委員会謝金
9) 消耗品費支出	232,938	204,000	28,938	事務用品費
10) 備品費支出	314,340	100,000	214,340	
11) 通信運搬費支出	298,603	254,000	44,603	HP管理
12) 印刷製本費支出	1,899,053	1,696,000	203,053	15周年記念誌
13) 水道光熱費支出	63,756	61,000	2,756	
14) 業務委託費支出	500,000	1,200,000	△ 700,000	認証コーディネーター5月分
15) 賃借料支出	2,328,480	2,287,000	41,480	事務所借料
16) 退職給付繰入金支出	200,000	200,000	0	
17) 雑役務費支出	154,028	300,000	△ 145,972	
18) 雑支出	210,454	375,000	△ 164,546	協議会への助成金・振込料等
<b>事業費支出計</b>	<b>16,337,261</b>	<b>18,108,000</b>	<b>△ 1,770,739</b>	
<b>2)管理費支出</b>				
1) 役員報酬支出	1,200,000	1,200,000	0	
2) 給与手当支出	804,000	804,000	0	
3) 福利厚生費支出	66,666	99,000	△ 32,334	
4) 通勤費手当支出	208,080	206,000	2,080	
5) 旅費交通費支出	10,011	318,000	△ 307,989	役員会
6) 減価償却支出	16,498	0	16,498	
7) 会議費支出	22,770	97,000	△ 74,230	役員会 社員総会
8) 諸謝金支出	739,471	241,000	498,471	役員会
9) 消耗品費支出	126,483	103,000	23,483	
10) 備品費支出	157,120	50,000	107,120	
11) 通信運搬費支出	163,084	127,000	36,084	
12) 印刷製本費支出	890,677	63,000	827,677	15周年記念誌
13) 水道光熱費支出	31,872	31,000	872	
14) 業務委託費支出	660,000	519,000	141,000	会計業務委託
15) 負担金支出	172,000	172,000	0	薬学教育協議会 公益法人協会
16) 賃借料支出	258,720	255,000	3,720	事務所借料
17) 租税公課支出	0	0	0	
18) 退職給付繰入金支出	100,000	100,000	0	
19) 雑役務費支出	77,013	50,000	27,013	
20) 雑支出	75,656	315,000	△ 239,344	振込料等
<b>管理費支出計</b>	<b>5,780,121</b>	<b>4,750,000</b>	<b>1,030,121</b>	
<b>事業活動支出計</b>	<b>22,117,382</b>	<b>22,858,000</b>	<b>△ 740,618</b>	
<b>事業活動収支差額</b>	<b>12,651,446</b>	<b>4,229,000</b>	<b>8,422,446</b>	

貸借対照表(案)

(令和3年3月31日現在)

公益社団法人 薬剤師認定制度認証機構  
(単位:円)

科 目	令和2年度決算額	令和元年度決算額	増 減
資 産 の 部			
1 流動資産			
現金預金	18,659,776	16,543,349	2,116,427
流動資産合計	18,659,776	16,543,349	2,116,427
2 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金及び定期預金	41,500,000	30,500,000	11,000,000
基本財産合計	41,500,000	30,500,000	11,000,000
(2) 特定資産			
敷金	1,232,000	1,232,000	0
特定資産合計	1,232,000	1,232,000	0
(3) その他固定資産			
工具器具備品	164,981	329,962	△ 164,981
その他の固定資産合計	164,981	329,962	△ 164,981
(4) 投資その他の資産			
投資その他の資産合計	0	0	0
固定資産合計	42,896,981	32,061,962	10,835,019
資産合計	61,556,757	48,605,311	12,951,446
負 債 の 部			
1 流動負債			
退職給付引当金	2,641,000	2,341,000	300,000
流動負債合計	2,641,000	2,341,000	300,000
負債合計	2,641,000	2,341,000	300,000
I 正 味 財 産 の 部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計			0
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	58,915,757	46,264,311	12,651,446
(うち基本財産への充当額)	(41,500,000)	(30,500,000)	11,000,000
(うち特定資産への充当額)	(1,232,000)	(1,232,000)	0
正味財産合計	58,915,757	46,264,311	12,651,446
負債及び正味財産合計	61,556,757	48,605,311	12,951,446

# 財産目録(案)

(令和3年3月31日現在)

公益社団法人 薬剤師認定制度認証機構  
(単位:円)

科 目	金 額	金 額	金 額
資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現金預金			
現金	118,362		
普通預金	18,541,414		
現金手許有高 みずほ銀行虎ノ門支店			
流 動 資 産 合 計		18,659,776	
2 固 定 資 産			
(1) 基本財産			
普通預金	11,000,000		
定期預金	30,500,000		
みずほ銀行虎ノ門支店 みずほ銀行虎ノ門支店			
基本財産合計	41,500,000		
(2) 特定資産			
敷 金	1,232,000		
特定資産合計	1,232,000		
(3) その他の固定資産			
工具器具備品	164,981		
その他の固定資産合計	164,981		
(4) 投資その他の資産			
投資その他の資産合計	0		
固定資産合計		42,896,981	
資 産 合 計			61,556,757
負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
退職給付引当金	2,641,000		
流動負債合計		2,641,000	
負債合計			2,641,000
正味財産			58,915,757

公益社団法人薬剤師認定制度認証機構

附属明細書 令和2年度  
(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

1、有形固定資産及び無形固定資産の明細

(1) 帳簿価額による記載

単位:円

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	当期償却額	期末帳簿価額	減価償却累計額	期末取得原価
有定	コピー複合機	329,962	0	0	164,981	164,981	1,282,219	164,981
形資								
固産	計	329,962	0	0	164,981	164,981	1,282,219	164,981
無定								
形資								
固産	計							

2、引当金の明細

単位:円


区分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	2,341,000	300,000	0	0	2,641,000




# 令和2年度監査報告書

令和3年5月26日

公益社団法人  
薬剤師認定制度認証機構  
代表理事 吉田武美 殿

監事 三輪 亮 

監事 斎藤 勲 

私ども監事両名は令和3年5月26日、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの令和2年度における会計および業務の監査を行いました。

その結果について次のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査については、会計帳簿および関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて、決算報告書の正確性を検討しました。
- (2) 業務監査については、理事会に出席し、理事からの業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて、業務執行の妥当性を検討しました。

## 2. 監査意見

- (1) 事業報告書の内容は真実であると認めます。
- (2) 貸借対照表、正味財産増減計算書、および財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の財産状況および収支状況を正しく示していると認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為、または法令若しくは定款に違反する事実はないと認めます。
- (4) 新型コロナウイルスの感染爆発、死者激増という未曾有な時代を迎えました。薬剤師の今後のあり方とともに薬剤師生涯研修の今後について、一度深く考える必要があるのではないのでしょうか。

以上

令和2年 法人財務に関する公益認定の基準に係る書類について  
(内閣府公益認定委員会提出書類)

公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律  
第五条 公益認定の基準

1. (公益目的事業の収支相償)

第五条六 その行う公益目的事業について、当該公益目的事業に係る収入がその実施する費用を償う額を超えると見込まれるものでないこと

公益目的事業収入		事業費			
15,495,188	-	16,337,261	=	△842,073	∴ 適合

2. (公益目的事業比率)

第五条八 その事業活動を行うにあたり、第十五条(公益目的事業比率)に規定する公益目的事業比率が百分の五十以上となるものと見込まれるものであること。

事業費	16,337,261
管理費	5,780,121
合計	22,117,382

$$\frac{16,337,261}{22,117,382} = 73.86\% \geq 50\%$$

3. (遊休財産額の保有制限の判定)

第五条九 その事業活動を行うにあたり、第十六条(遊休財産額の保有制限)第二項に規定する遊休財産額が同条一項の制限を超えないと見込まれるものであること。

遊休財産額の保有上限額 (年間事業費相当額)	>	遊休財産額	
16,337,261		16,165,757	∴ 適合

※ 遊休財産額

$$\begin{aligned} & \text{資産合計 (61,538,757)} - \text{負債合計 (2,641,000)} - \text{控除対象財産額 (42,732,000)} \\ & = 16,165,757 \end{aligned}$$

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の償却方法

什器備品 定率法によっております。

#### (2) 退職給付引当金の計上基準

職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の要支給額を基に、見積り計上しております。

#### (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
現金預金	30,500,000	11,000,000	0	41,500,000
小計	30,500,000	11,000,000	0	41,500,000
特定資産				
敷金	1,232,000	0	0	1,232,000
小計	1,232,000	0	0	1,232,000
合計	26,732,000	11,000,000	0	42,732,000

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正 味財産からの 充当額)	(うち一般正 味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
現金預金	41,500,000	0	(41,500,000)	0
小計	41,500,000	0	(41,500,000)	0

特定資産				
敷金	1,232,000	0	(1,232,000)	0
小計	1,232,000	0	(1,232,000)	0
合計	42,732,000	0	(42,732,000)	0

4. 固定資産の取得価額・減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額・減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品			
コピー複合機	1,447,200	1,282,219	164,981
合計	1,447,200	1,282,219	164,981

## 令和3年度 会費の規程

公益社団法人薬剤師認定制度認証機構

この法人の会員規程第4条に関わる正会員、特別会員、及び賛助会員の年会費は次の通りとする。

### ◇正会員

下記アにイを加えた金額

ア 基礎部分 ¥200,000  
認証日の次年度から適用する。

イ 比例部分

A契約 ¥600 × 前年度認定証発給数

B契約 ¥400 × 前年度認定証発給数

A、Bは認証申請者が選択（「認証事業実施要綱<別添>認証に関わる経費」参照）

◇法人・団体特別会員	¥2,000,000（公社）日本薬剤師会
	¥200,000（公社）日本薬学会
	¥300,000（般社）日本医療薬学会
	¥300,000（般社）日本私立薬科大学協会
	¥90,000 国公立大学薬学部長会議

法人・団体特別会員には、年度末に次年度の年会費を確認

◇個人特別会員 ¥100,000

◇賛助会員 ¥200,000

第4号議案

令和3年度 役員候補者一覧（敬称略）

理事の選任（任期 令和3年6月25日～選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時まで）

新任

候補者名	所属	推薦機関	備考
①奥田 真弘	大阪大学医学部附属病院	日本医療薬学会	同病院薬剤部長・教授、 同会会頭
②木澤 晃代	日本看護協会	日本看護協会	同会常任理事
③久保田 理恵	北里大学薬学部	日本女性薬剤師会	同学部教授
④崔 吉道	金沢大学附属病院薬剤部	日本薬学会	同病院薬剤部長・教授
⑤中垣 俊郎	医薬品医療機器レギュラト リーサイエンス財団	日本薬剤師研修セン ター	同財団理事長
⑥狭間 研至	医療法人嘉健会	昭和大学薬学部	同会理事長、現認定薬剤 師認証研修機関協議会 (CAPEP) 会長
⑦林 昌洋	虎の門病院	日本病院薬剤師会	同病院薬剤部長

再任

候補者名	所属	役員在任期間
⑧赤池 昭紀	和歌山県立医科大学	2年4期
⑨田辺 功	元朝日新聞社科学部編集委員	6期12年
⑩俵木 登美子	くすりの適正使用協議会理事長	1期2年
⑪藤垣 哲彦	谷川薬品商事(株)代表取締役	4期8年
⑫安原 真人	帝京大学薬学部特任教授	6期12年
⑬山田 勝士	鹿児島大学名誉教授	6期12年
⑭山本 信夫	保生堂薬局	6期12年
⑮吉田 武美	認証機構代表理事	5期10年

## 第4号議案

監事の選任（任期 令和3年6月25日～選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時まで）

再任

候補者名	所属	役員在任期間
⑯齊藤 勲	元日本製薬団体連合会理事長	3年12期
⑰三輪 亮寿	三輪法律事務所弁護士	3年12期